

D X時代の農業戦略 ～データ農業と地域ブランド～

データを活用した新しい農業の時代が到来する中で、それを担う若い就農者等の支援や、DXを活用した新たな地域ブランド戦略等に関する講義、演習等により、農業を通じた地域産業の振興に必要な知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

日 程	令和9年1月25日(月) ～ 1月29日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	40人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部		
	TEL	043-276-3126	
	URL	https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

1月25日／月

13:15 - 14:45 入所 15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 -
課題演習（討議）

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

1月26日／火

9:00 - 12:00
スマート農業の最前線と今後の展望（講義）
株式会社マイファーム専務取締役
浪越 隆雅 氏

日本の農業の現状を把握した上で、行政としてスマート農業をどう活用するか、また地域農業をどのように推進するかを考える。スマート農業および地域農業に関する総論について学びます。

13:00 - 14:10
スマート農業の推進のための国の施策（講義）
農林水産省大臣官房政策課技術政策室
技術企画専門官
工藤 なつみ 氏

生産者への普及や技術開発への支援、スマート農業教育やデータ連携基盤等の環境整備などを含む国の施策の動向について学びます。

14:25 - 15:35
データで人と人がつながり、地域の農業が盛り上がる！＜所得向上～後継者育成～地域産業の育成へ＞（講義）
高知大学IoP共創センター
副センター長／特任教授
岡林 俊宏 氏

農業先進国オランダから学び、「経験と勘に頼る農業」から「データ駆動型農業」に転換していくことで、「もっと楽しく・もっと楽に・もっと儲かる農業」を実現してきた高知県の産学官連携の取組みを学び、「地域産業」×「デジタル・AI」によって新たな付加価値を生み出していくためには、地方自治体が今、何をすべきなのかを考えていきます。

15:50 - 17:45
課題演習（討議）

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

1月27日／水

9:00 - 12:00

当研修所でバスを用意し、千葉市農政センターへ実地研修に行きます。

9:45 - 11:15

【実地研修】現場で学ぶDX時代の千葉市の農業（視察・講義）

千葉市農政センター

千葉市農政センターは、2022年、スマート農業の実証フィールド化、栽培試験・研修の強化、農業技師の指導力強化の3つを柱とするリニューアルプランを策定し、千葉市農業の成長産業化を支援する現場の拠点となっています。

13:00 - 14:10

ふるさと納税を活用したスマート農業集積戦略～農業版シリコンバレー「DEEP VALLEY」の挑戦～（講義）

埼玉県深谷市産業振興部産業ブランド推進室 室長補佐兼企業誘致推進係長

小暮 正樹 氏

ふるさと納税を活用したビジネスコンテストによる企業誘致と、誘致企業に対して農地を「実証実験のフィールド」として提供するための農家マッチングなど、自治体主導の農業イノベーション戦略について学びます。

14:25 - 15:35

視察が絶えない有機給食～有機を通じた地域所得、地域魅力の向上～（講義）

千葉県いすみ市農林課有機農業推進班班長

鮫田 晋 氏

高齢化や担い手不足に見舞われ、先行きの見えない状況が続く中、千葉県有数の米の産地いすみ市は2013年から有機米栽培に活路を見出しました。農家の希望で始めた学校での有機米給食は、全国で評判となり、地域所得の向上に寄与しています。自治体主導により有機農業を推進し、生産性・収益性を向上や地域ブランド化への取り組みについて学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

1月28日／木

9:00 - 10:35

「農業×ICT」を通じた地域経済の活性化や街づくりをめざして～官民コラボの農業戦略～（講義）

株式会社NTTアグリテクノロジー代表取締役社長

酒井 大雅 氏

地域でスマート農業に取り組むには、行政の力だけではなく、民間企業との連携が不可欠です。「農業×ICT」を通じて全国各地で地域経済の活性化に取り組むNTTアグリテクノロジーから、ICTを活用しての生産性、収益性向上の具体例や行政と連携しての取り組みやその成果などについて講義いただきます。

10:50 - 12:00

人口減少・担い手不足に向き合うスマート農業と地域農業の未来（講義）

株式会社白銀カルチャー代表取締役

荒木 康男 氏

農業現場における人手不足、担い手不足、農家減少の実態を理解したうえで、スマート農業に求められる役割や限界を捉え、デジタル技術を活用した持続可能な地域農業と地域づくりのあり方について学びます。

13:00 - 15:35

A I時代の地域ブランド戦略（講義・演習）

一般社団法人地方PR機構代表理事

殿村 美樹 氏

地域の農産品、地域の人は気づかないけれど、外から見れば魅力の塊です。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

1月29日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

株式会社マイファーム専務取締役

浪越 隆雅 氏

班別討議の内容を各班ごとに発表し、その内容について講師から講評をいただきます。

12:10 -

修了式